

一般社団法人

口検証産業協会

安心・快適・IT社会

IT Verification Industry Association



平成27年9月25日

平成26年度版「IVIA活動報告書」

はじめに

IVIA活動報告につきましてご案内を申し上げます。本活動報告書は会員企業様のみならず協会外部への発信も実施させていただくことになりました。IVIAでは第三者検証業界に当協会内での活動内容を発信することにより広く活動内容をご理解頂き、検証業務にかかわる各企業様の情報の共有やIVIAの認知度の拡大を図ることを目的としております。

MAIJ.

- ·業界認知度向上
- 情報発信
- ·技術者送出·育成
- 以上3点を軸に、「T検証産業の技術力向上および標準化に努めています。

情報発信

業界 認知度 向上

- 〇HP開設 企業紹介
- 外部団体との協業、情報交換 検証共同研究 検証受託研究
- ○産官学との連携

技術力向上 標準化

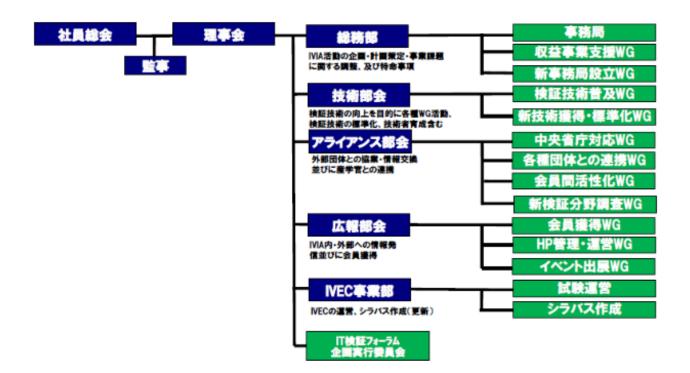
- ○セミナー
- ○メディア寄稿
- ○ブログ
- ○メルマガ
- ○展示会・イベント

- ○技術力向上 WG 勉強会
- ○標準化 検証技術体系 用語

技術者 創出•育成

- ○技術者地位向上 スキル認定
- ○研修
- ○有料セミナー
- IT検証技術者資格認定





IVIAでは今年度組織変更を実施し、以前より増して各部会、事業部の活動内容を明確化し、また連携の強化をはかりました。

今後の情報サービス・ソフトウェア産業のあり方と施策



我が国情報サービス・ソフト ウェア産業の世界市場における 強み・弱み

■ 一方、組込みソフトウェアは 我が国輸出製品の6割を支え

る付加価値の源泉

- ■情報システム・ソフトウェア でも品質・信頼性の高さは我 が国の強み。
- ■他方、インド、中国を中心と する新興国ベンダは規模を急 拡大
- オフショア開発にとどまら ず、サービス提供能力を高め ている
- 我が国の情報サービス・ソフトウェア産業は、多くの地域・中小ベンダの下支えにより形成。
- ■一方、地域・中小ベンダは、 地域の中小ユーザのニーズに 応え切れておらず、さらに、 クラウド時代を見据えて業態 の転換も求められている。

今後の情報サービス・ソフトウェア 産業のあり方

- 組込みソフトウェア業の今後の方向性
 - 海外展開
- 情報サービス業・ソフトウェア業・組 込みソフトウェア業の今後の方向性
 - 開発期間の短縮、信頼性向上
- ■情報サービス業の今後の方向性

(地域・中小ベンダ)

- ▼下請け構造からの脱却と地元ユーザ 密着型のITサービス展開のための供 給力強化
- SaaS型ビジネスへの参入のための 基盤強化

施策

非競争領域の特定・共同開発・標準化の推進

ソフトウェアエンジニアリング の高度化・推進、検証工程の自 動化、第三者検証の推進による 信頼性の見える化、障害事例共 令、人材・スキルの見える化促 進

中小ベンダ間の連携促進(共同受注、技術・提案力強化等の人材育成)、ユーザのための中小ベンダの可視化とマッチング機会の拡大、中小企業のIT投資促進

出展:経済産業省HP

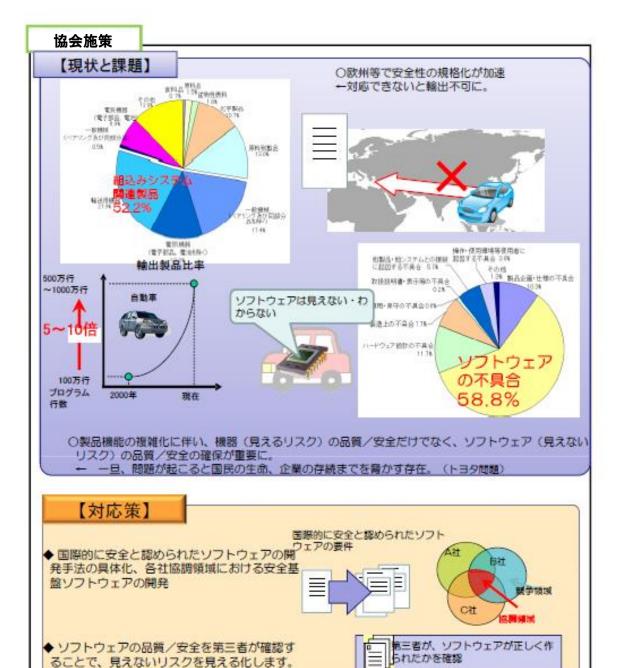
組込みシステムの信頼性向上

8.7億円(7.3億円)

8.7億円(7.3億円)

○組み込みシステム基盤整備事業

- 〇組込みシステム(**1)は、自動車、産業機械等のあらゆる製品に内蔵され、製品の付加価値の源泉となっている一方で、近年組込みシステムの大規模化・複雑化が進み、信頼性・安全性等の品質の確保が喫緊の課題となっています。また、海外では、欧州等を中心として機能安全(**2)の標準化検討が進んでいます。こうした背景の下、組込みシステムの信頼性・安全性を向上させ、標準化等を推進することにより、経済社会全体の安全・安心の確保並びに我が国製造業及び組込みシステム産業の国際競争力を強化することを目的とします。
- ※1「組込みシステム」とは、自動車、情報家電、ロボット等に内蔵される、機器固有の機能を実現するシステムです。
- ※2「機能安全」とは、機械等が人間や環境に危害を及ぼすリスクを機能的な工夫(安全機能)を導入して許容できるレベルに逓減することにより安全を確保する設計思想を指します。
- ○機能安全規格に対応した開発に係るガイドラインの策定、高信頼制御基盤ソフトウェア(共通領域)の開発・評価、高度検証ツールの開発・評価等を行います。



(第三者検証制度と検証用ツールの整備)

技術部会



当部会は、検証技術の標準化と普及、新技術への対応・標準化を目的として活動しています。

- 必須として備えるべき実践的な検証技術の標準化と普及
- 特定ドメインでの研究活動による検証技術獲得

これらの活動の成果は、協会員だけでなく広く一般にも公開し、検証産業の育成や発展につなげていきたいと考えています。また、旬なテーマに対して、その分野で活躍中の講師を招いての講演会を行い、技術的な研究のきっかけ作りを行っています。



2014年度の取り組み

1. 検証技術の標準化と普及活動

- | T検証標準工法ガイドを一般公開協会内で活用してきた「IT検証標準工法ガイド」を広く検証を業務としている方々に使っていただくため2014/5に一般公開。本ガイドは、ソフトウェア検証業務の各工程・作業の概要、および各作業に対するINPUT・考慮ポイント・OUTPUTの実践的な指針です。
- - スマートハウスの品質を守れ
 - ・安心・安全なホームネットワークの発展への貢献

2. 新技術への対応・標準化

- スマートハウス/エコーネットの検証技術獲得と標準化 スマートハウススにおけるHEMS、ネットワーク、エコーネットデバイスの検証 に関する実証実験を実施し、ガイドラインを作成。
- ホームネットワークにおけるカスタマサポートの技術研究 新世代ネットワーク推進フォーラム・レジデンシャルICT-SWG のタスクフォー スにて、検証の立場から検討・提案し、TTC技術レポート「ホームネットワーク におけるカスタマサポートガイドライン」作成の一翼を担った。
- ソフトウェアテスト国際標準(ISO/IEC/IEEE 29119ソフトウェアテスト)の研究 29119のPart1:概念と定義、Part2:テストプロセス、及び、Parr3:テスト文書 の内容を解釈し、日本語の解説書を作成中。2015/7に一般公開予定。

3. 旬なテーマの講演会(ワークショップ)の開催

■ ハンズオン形式のワークショップを開催 テーマ:ユーザビリティ・インスペクション入門 講師:利用品質代表 樽本哲也氏

4. 各社得意技術の紹介

検証技法や検証ツール、検証プロセス、検証マネジメントなど、多彩な内容。さすが、 検証の専門家たち。IoT時代の検証技術の「気づき」が得られるかも。

アライアンス部会

THE COURSE OF THE PERSON OF TH

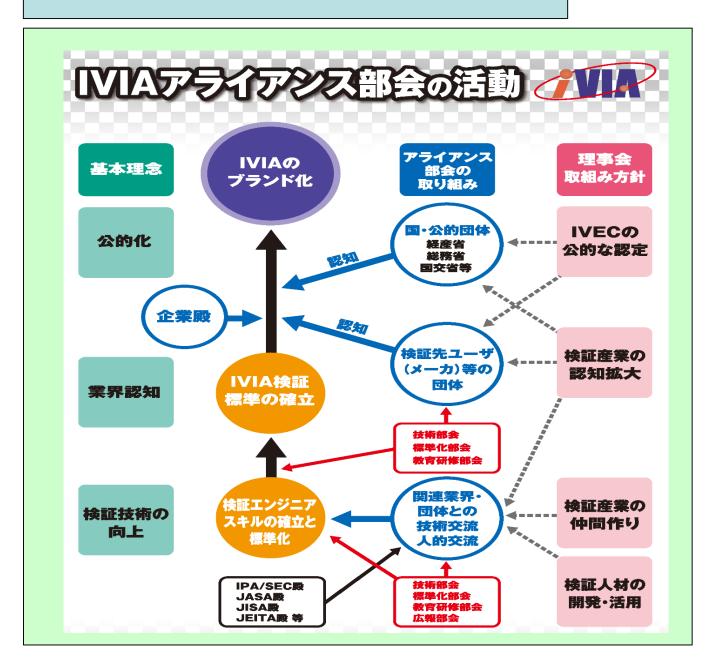
当部会では、システム検証に関わる事業会社様、学術組織、官公庁様の連携を推進し、検証業界の社会的な認知度の向上を目指して活動しております。

- (1) ビジネスマッチング: 事業会社様との連携、会員間の連携推進。
- (2) テクニカルMTG: 教科書に無い、<u>検証技術の肝</u>の発表、蓄積を 行い、高度な検証技術の共有化を推進。
 - (3) ネットワーク基盤の検証等新たな検証分野の開拓を推進。
- (4) SNSでの発信: Face bookによる『ソフトウエアテストの知恵袋』の展開で草の根での技術コミュニケーションを推進。
- (5) 中央官庁、各種団体との連携を推進。

THE RESERVE OF THE PARTY OF THE







広報部会

当部会では、IVIAの活動情報を広く内外に配信し、皆様にいかにご理解いただくかを主な活動として運営しております。会員企業・個人に向けたHPの運営、賀詞交歓会の開催、IT検証フォーラム2015の開催を実施しました。



IT検証フォーラム2015開催風景

平成27年7月15日 東京大学 伊藤国際学術 研究センター



400余名のご来場を頂きました

ホームページのリニューアル後、 赤をカラーとして会員企業様はじめ、 外部への情報発信もわかりやすく 更新しております。

IVIAホームページ http://www.ivia.or.jp



広報部会

各展示会の出展また地方展開の活動など幅広く 活動させて頂いております。

更なる会員獲得とIVIA・IVEC認知度UPを目指しております。



展示会 開催風景



5月ESEC出展風景

他の展示会 10月CEATEC 12月ETに出展しました

地方展開開催風景



6月北陸 情報交換会

IVEC事業部



日ごろよりIT検証技術者認定試験(IVEC)にご協力頂き、誠にありがとうございます。IVEC事業部では春期より 実務試験L5をスタートすると共に、引き続きIVECの認知 度拡大(受験者増)を中心に活動を進めて参りました。



IVEC事業部では2014年度事業計画に基づき、以下の通り知識試験、 実務試験を開催して参りました。

知識試験においては、例年通りレベル1~レベル5の年2回(春·秋) を実施しました。

【春期】受験者数:301人 合格者数:215人 【秋期】受験者数:330人 合格者数:218人

【合計】受験者数:631人 合格者数:433人となりました。

実務試験においては、例年通りレベル1~レベル4の他、春よりレベル5の 試験も開始しました。

【春期】受験者数:298人 合格者数:168人【秋期】受験者数:302人 合格者数:143人

【合計】受験者数:600人 合格者数:311人となりました。

実務試験レベル5に関しては、春秋合計で、

受験者数:47人 合格者数:24人となりました。

以上の結果、IVEC認定者(知識試験合格+実務試験合格)は、累計

	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
となりました。	24人	239人	171人	320人	342人

詳しくはIVIAホームページ(http://www.ivia.or.jp/item/46.html)をご覧ください。



IVEC受験者数の推移

年		知識試験				実務試			矣	
	L1	L2	L3	L4	L5	L1	L2	L3	L4	L5
2007	183	365	62	144	_	_	_	_	_	_
2008	138	258	139	259	_	_	_	_	-	_
2009	117	144	121	208	_	_	_	_	_	_
2010	72	151	97	256	_	_	_	_	_	_
2011	71	111	64	252	50	24	49	_	_	_
2012	71	106	43	225	120	27	71	28	124	_
2013	79	271	5	26	60	42	213	6	46	_
2014	241	279	20	64	27	206	255	19	73	47

